

ポートの設定

• ポートの設定 (GUI) , 1 ページ

ポートの設定(GUI)

コントローラのポートは、工場出荷時にデフォルト設定が行われていて、追加設定しなくても動作する設計になっています。 しかし、必要に応じて、コントローラのポートのステータスを表示し、設定パラメータを編集できます。

ステップ1 [Controller] > [Ports] を選択して [Ports] ページを開きます。

このページには、コントローラのポート別に現在の設定が表示されます。

特定のポートの設定を変更するには、そのポートの番号をクリックします。 [Port > Configure] ページが表示されます。

- (注) 管理インターフェイスおよび AP マネージャ インターフェイスが同じポートにマップされており、いずれも同じ VLAN のメンバである場合は、WLAN を無効にしてから、ポートマッピングをいずれかのインターフェイスに変更する必要があります。管理インターフェイスと AP マネージャインターフェイスが別々の VLAN に割り当てられている場合は、WLAN を無効にする必要はありません。
- (注) [Port > Configure] ページで使用できるパラメータの数は、使用しているコントローラの種類によって異なります。

ポートの現在のステータスには、次のものがあります。

- [Port Number]:現在のポートの番号。
- [Admin Status]: ポートの現在の状態。 値: [Enable] または [Disable]
- [Physical Mode]: ポートの物理インターフェイスの設定。 モードは、コントローラの種類によって異なります。
- [Physical Status]: ポートで使用されているデータレート。 使用可能なデータレートは、コントローラの種類によって異なります。

- 。2500 シリーズ: 1 Gbps 全二重
- 。WiSM2:10 Gbps 全二重
- 。7500 シリーズ: 10 Gbps 全二重
- [Link Status]: ポートのリンクステータス。 値: [Link Up]、または [Link Down]
- [Link Trap]: リンクステータスが変更されたときにトラップを送信するようにポートが設定されているかどうかを示します。 値: [Enable] または [Disable]
- [Power over Ethernet (PoE)]:接続デバイスにイーサネットケーブル経由で受電する機能がある場合は、-48VDCを供給します。 値: [Enable] または [Disable]
 - (注) 古い Cisco アクセス ポイントの中には、コントローラ ポートで有効になっていても、PoE を受電しないものがあります。 このような場合は、Cisco Technical Assistance Center (TAC) にお問い合わせください。

次に、ポートの設定可能なパラメータのリストを示します。

- 1 [Admin Status]: ポートを経由するトラフィックのフローを有効、または無効にします。 オプション: [Enable] または [Disable]、デフォルト: [Enable]。
 - (注) プライマリポートリンクがダウンした場合、メッセージは内部のログにのみ記録され、syslog サーバにはポストされません。 syslog サーバへのロギングが回復するまでに、最大で 40 秒 の時間がかかる可能性があります。
- **2** [Physical Mode]:ポートのデータレートが自動的に設定されるか、ユーザによって指定されるかを表します。サポートされているデータレートは、コントローラの種類によって異なります。デフォルト:[Auto]
- **3** [Link Trap]: ポートのリンク ステータスが変化したときにポートからトラップが送信されるようにします。 オプション: [Enable] または [Disable]、デフォルト: [Enable]。
- ステップ2 [Apply] をクリックします。
- ステップ3 [Save Configuration] をクリックします。
- ステップ4 [Ports] ページに戻り、変更内容を確認するには、[Back] をクリックします。
- ステップ5 設定するポートそれぞれについて、この手順を繰り返します。